

平成24年7月17日

各位

九州大学大学院農学研究院
資源生物科学部門
動物・海洋生物資源学講座
家畜生体機構学分野
助教候補者審査委員会
田畑正志

家畜生体機構学分野

テニュアトラック助教候補者の推薦について（依頼）

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本審査委員会は下記のとおり動物・海洋生物資源学講座、家畜生体機構学分野テニュアトラック助教候補者を公募することになりました。つきましては、適任者をご推薦くださいますようお願い申し上げます。なお本公募は、「九州大学テニュアトラック制」及び文部科学省科学技術人材育成費補助金「テニュアトラック普及・定着事業」で支援されていますので、その目的に沿ったものであることをご理解ください。

敬具

記

1. 職・人数

テニュアトラック期間中：助教（特定有期教員）

テニュアトラック期間終了後：助教

1名

2. 所属・専門分野

本公募は資源生物科学部門、動物・海洋生物資源学講座の将来計画に則ったもので、家畜生体機構学分野の助教を募集するものである。家畜生体機構学研究室は動物組織学を含む家畜・家禽の生体機構学を教育担当し、研究においては家畜・家禽の味覚受容機構の解明及び動物細胞の細胞内（間）情報伝達機構の解明を主たるテーマにしている。今回の公募は上記教育研究における経歴を有すか、今後、積極的に上記教育研究を行う強い意思がある方で、旺盛な研究発信能力および国際的な研究活動を推進できる能力を有し、研究室所属の現教員と協力して教育研究を担当できるような協調性を有す若手教員を募集する。

テニュアトラック期間終了後は、5年の任期制となる（審査により再任あり）。

テニュアトラック期間終了後の採用基準概要

- 1) 当該分野において次世代の研究を牽引する能力が十分であると認められること。
- 2) 研究の方向性が農学研究院の目指す方向性と合致していること。
- 3) 教育に関して熱心に取り組む意思を持ち、また、教育に関する考え方が生物資源環境科学府および農学部の目指す方向性と合致していること。
- 4) 学部学生と大学院生に対する教育および研究指導の経験を有すこと。
- 5) 全国規模の学会等で発表があること。
- 6) 国際誌における論文発表があること。

3. テニュアトラック審査基準

1) 審査の流れ

審査は当該部局の委員・外部有識者・高等研究院教員等により構成される審査委員会により行う。

1次審査として、1. 業績等について書面審査（ピアレビュー）を行う。2次審査として、プレゼンテーションおよび質疑応答を含む面接審査を行う。

2) 審査基準の概要

これまでの研究業績、プレゼンテーション能力、研究への熱意、ポテンシャル等について総合的に判断し、テニュアトラック期間終了後の通常教員への採用が期待されるレベルであるか。

4. 通常教員採用審査基準の概要

テニュアトラック期間における研究業績および教育に関する資質等がテニュアトラック期間終了後の職位にふさわしいものであるか（2. 所属・専門分野を参照のこと）。

5. 採用予定時期

平成24年度内（平成25年3月31日まで）のできるだけ早い時期

6. 待遇

給与及び保険等の諸待遇については、経験等を考慮し本学の関係規程により決定する。

研究費：初年度（着任日～平成25年3月31日）1,000万円程度を上限とする。

2年度目（平成25年4月1日～平成26年3月31日）500万円程度を上限とする。

3年度目以降（平成26年4月1日～平成29年3月31日）年間400万円程度を上限とする。

7. 応募資格

博士の学位を有すとともに、上記の領域について業績を有すか、あるいは今後当該分野（研究室）教員とともに上記の領域で大いに頑張ろうと意欲を有す方で、当該分野の発展と家畜生体機構学の教育研究に熱意をもって取り組む方を求める。なお本公募は、「九州大学テニュアトラック制」及び文部科学省科学技術人材育成費補助金「テニュアトラック普及・定着事業」で支援されているため、以下のような制限がある。

- 1) 博士号取得後10年以内又は同等程度の研究経歴を有すこと。

- 2) 上記採用予定期間内に重複して他の研究機関・企業等に所属しないこと。
- 3) 旧科学技術振興調整費「若手研究者の自立的な研究環境整備促進」事業による教員等として採用され、当該補助金により人件費又は研究費を補助された経験を有さないこと。

8. 担当授業科目

1) 学部

基礎生物学実験、家畜生体機構学実験、卒業研究等

2) 大学院

修士課程：動物生体機能学特論、動物形態形成学特論、動物・海洋生物資源学輪講等

博士後期課程：家畜生体機構学講究、家畜生体機構学講究演習等

なお、テニユアトラック期間中は研究エフォートが70%以上であるように配慮されている。

9. 提出書類

1) 履歴書（写真貼付）

2) 業績目録（査読付、査読なし、著書・総説、国際会議のプロシーディングなどに分けて記載、競争的資金獲得状況を含む）

3) 学術論文の別刷（主要なもの3編以内、コピー可）

4) 現在までの研究・教育内容の要約（A4用紙1～2枚程度）

5) 着任後の抱負（A4用紙1～2枚程度）

6) 応募者の研究内容等につき照会が可能な者2名の氏名と連絡先

なお、応募書類は原則として返却されない。

10. 面接等

2次審査で面接を行う。その際の旅費・滞在費は応募者の自己負担とする。

11. 提出締切

平成24年9月14日（金）午後5時必着

12. 提出書類の送付先

〒812-8581

福岡市東区箱崎6-10-1

九州大学農学部庶務係宛

（封筒に「教員応募書類」と朱書の上、必ず郵便書留・宅配便その他、送付の証明ができる方法にて送付のこと）

13. その他

1) 九州大学大学院農学研究院は、平成15年4月1日より全ての職に教員任期制（5年・再任可）を導入している。

2) 九州大学では、男女共同参画社会基本法（平成11年法律第78号）の精神に則り、教員の選考を行っている。

3) 本研究院、学府、学部等の教育研究概要等は、ホームページを参照のこと。

研究院・学府・学部 <http://www.agr.kyushu-u.ac.jp>

- 4) 送付された資料は選考以外の目的には使用しない。
- 5) 給与等についての問い合わせ先：
九州大学農学部庶務係（電話：092-642-2802）
- 6) 本公募についての問い合わせ先：
〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1
九州大学大学院農学研究院
家畜生体機構学分野 教授 田畑正志
TEL:092-642-2942、e-mail:stabata@agr.kyushu-u.ac.jp

以上